
地域史研究

—尼崎市立歴史博物館紀要—

第 120 号

令和 3 年 2 月

お届けします…

□令和 2 年（2020）10 月 10 日、尼崎市立歴史博物館が開館しました。昭和 46 年（1971）に尼崎市史研究紀要として創刊し、昭和 51 年以降は地域研究史料館紀要として発行してきた本誌は、今号から歴史博物館紀要となります。

■開館記念号として、巻頭には博物館を紹介するカラーグラビア、続いて市長・教育長の巻頭言と博物館の概要、さらに、開館に先立って開催された園田学園女子大学主催のシンポジウム記録を掲載しました。

□研究論考としては、戦国期の荒木村重の動向を取り上げる砂川論文、学校教育史に関する島田論文と、今回も意欲的な 2 本の論文をご寄稿いただきました。連載企画の古代中世と近代の史料紹介、天野論考、田中敦氏による「あまおぶね」とあわせてお届けします。

■半世紀、120 号を重ねる紀要は全国的に見てもめずらしく、博物館としてこの伝統を受け継いでいきます。今後とも『地域史研究』をよろしく願います。